

## 令和5年 水稻病害虫発生情報 第1号 (6月中下旬)

### 1 イネミズゾウムシ（発生量：津軽地域…多い、県南地域…平年並）

#### (1) 発生概況

発生地点率及び被害度は、津軽地域で平年より高く、県南地域で平年並であった。

#### (2) 今後の防除対応

被害が多い水田では、次年度以降育苗箱施用剤による防除を実施する。

表1 6月中下旬巡回調査におけるイネミズゾウムシ被害（被害度）

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率（％）					発生地点 率（％）	被害度
			甚(>70)	多(>50)	中(>20)	少(>0)	無		
津軽	本年	25	0	0	32.0	60.0	8.0	92.0	12.6
	前年	35	0	0	0	54.3	45.7	54.3	3.7
	平年	35	0	0	10.1	54.2	35.7	64.3	6.2
県南	本年	15	0	0	13.3	60.0	26.7	73.3	4.7
	前年	28	0	0	3.6	39.3	57.1	42.9	3.9
	平年	31	0	0.3	14.3	43.6	41.9	58.1	6.9
県計	本年	40	0	0	25.0	60.0	15.0	85.0	9.6
	前年	63	0	0	1.6	47.6	50.8	49.2	3.8
	平年	66	0	0	10.8	49.5	39.7	60.3	6.0

### 2 イネドロオウムシ（発生量：津軽地域…多い、県南地域…平年並）

#### (1) 発生概況

発生地点率及び被害度は、津軽地域で平年より高く、県南地域で平年並であった。  
津軽地域を中心に広く発生が認められ、西北地域の一部ほ場では多発生も確認された。

#### (2) 今後の防除対応

被害が目立ち、幼虫が見られる水田では速やかに薬剤散布を実施する。

表2 6月中下旬巡回調査におけるイネドロオウムシ被害（被害度）

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率（％）					発生地点 率（％）	被害度
			甚(>70)	多(>50)	中(>20)	少(>0)	無		
津軽	本年	25	0	4.0	24.0	40.0	32.0	68.0	12.6
	前年	35	0	0	0	48.6	51.4	48.6	4.6
	平年	35	0	0	4.3	27.5	68.2	31.8	2.6
県南	本年	15	0	0	0	20.0	80.0	20.0	0.8
	前年	28	0	0	0	7.1	92.9	7.1	0.5
	平年	31	0	0	0.7	9.7	89.6	10.4	0.7
県計	本年	40	0	2.5	15.0	32.5	50.0	50.0	8.2
	前年	63	0	0	0	30.2	69.8	30.2	2.8
	平年	66	0	0	2.8	20.4	76.8	23.2	2.3

### 3 イネヒメハモグリバエ、イネハモグリバエ（発生量：平年並）

#### (1) 発生概況

- ① イネヒメハモグリバエは、県全体で発生地点率が平年より高かったが、被害度は概ね平年並であった。
- ② イネハモグリバエの被害は認められなかった。

#### (2) 今後の防除対応

発生時期が長期にわたる場合は、薬剤散布を実施する。

表3 6月中下旬巡回調査におけるイネヒメハモグリバエ被害（被害度）

地域	年次	調査地点数	程度別発生地点率（％）					発生地点率（％）	被害度
			甚(>70)	多(>50)	中(>20)	少(>0)	無		
津軽	本年	25	0	0	0	72.0	28.0	72.0	2.2
	前年	35	0	0	0	22.9	77.1	22.9	0.4
	平年	35	0	0	2.1	48.8	49.1	50.9	2.6
県南	本年	15	0	0	0	73.3	26.7	73.3	2.8
	前年	28	0	0	0	17.9	82.1	17.9	0.2
	平年	31	0	0	0.3	29.5	70.2	29.8	1.2
県計	本年	40	0	0	0	72.5	27.5	72.5	2.4
	前年	63	0	0	0	22.2	77.8	22.2	0.3
	平年	66	0	0	1.2	38.5	60.3	39.8	1.9

表4 6月中下旬巡回調査におけるイネハモグリバエ被害（被害度）

地域	年次	調査地点数	程度別発生地点率（％）					発生地点率（％）	被害度
			甚(>70)	多(>50)	中(>20)	少(>0)	無		
津軽	本年	25	0	0	0	0	100	0	0
	前年	35	0	0	0	0	100	0	0
	平年	35	0	0	0	0	100	0	0
県南	本年	15	0	0	0	0	100	0	0
	前年	28	0	0	0	0	100	0	0
	平年	31	0	0	0	0.6	99.4	0.6	0.0
県計	本年	40	0	0	0	0	100	0	0
	前年	63	0	0	0	0	100	0	0
	平年	66	0	0	0	0.3	99.7	0.3	0.0

### 4 フタオビコヤガ（発生量：やや多い）

#### (1) 発生概況

発生地点率及び食害度は、県全体で平年よりやや高かった。

#### (2) 今後の防除対応

7月上旬に被害が目立つ水田では薬剤散布を実施する。

表5 6月中下旬巡回調査におけるフタオビコヤガ被害（被害度）

地域	年次	調査地点数	程度別発生地点率（％）					発生地点率（％）	被害度
			甚(>70)	多(>50)	中(>20)	少(>0)	無		
津軽	本年	25	0	0	0	44.0	56.0	44.0	1.8
	前年	35	0	0	0	2.9	97.1	2.9	0.0
	平年	35	0	0	0	12.6	87.4	12.6	0.4
県南	本年	15	0	0	0	20.0	80.0	20.0	0.9
	前年	28	0	0	0	0	100	0	0
	平年	31	0	0	0	11.0	89.0	11.0	0.3
県計	本年	40	0	0	0	35.0	65.0	35.0	1.5
	前年	63	0	0	0	1.6	98.4	1.6	0.0
	平年	66	0	0	0	10.9	89.1	10.9	0.3

## 5 いもち病（葉いもち初発未確認）

### （1）発生概況

6月22日現在、本田における葉いもちの発生は認められていない。

### （2）今後の防除対応

- ① 取置苗は葉いもちの発生源となるので、水田内や周辺に放置しない。
- ② 常発地や葉いもちに罹りやすい品種を作付けしている水田で箱施用剤や側条施用剤を使用していない場合は、水面施用剤を散布する。
- ③ 葉いもちの初発生は、例年7月上中旬頃に確認されている。水田をよく見回り、発生を認めたら直ちに茎葉散布を実施する。病気の進展が止まらない場合は、系統の異なる薬剤を散布する。

**【この情報に関する問合せ先】**

〒030-0113 青森市第二問屋町 4-11-6 青森県病害虫防除所  
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900 担当：主幹 品川聖也